

指針で数値目標を設定した各項目の進捗状況等について  
(指針の数値目標)

施策の方向1 県民ニーズに応じた農畜産物の生産と利用の促進

項目	基準値	最終目標値	過年度実績	単年度目標値	昨年度実績値	昨年度に実施した取組	今年度の取組計画	担当課
マーケット・インの発想による新たな契約数(累計)	平成27年度 22件	平成38年度 60件	平成28年度 35件	平成29年度 5件増加	14件 (49件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○11月7日に流通関係者等36名を参集して推進会議を開催、マーケット・イン型農業の取引ポイントをまとめたマニュアルを配布</li> <li>○11月にかながわ農林水産物マッチング商談会において実需者にマニュアルを配布、1月から3月に事業者個別ヒアリングを5回行い、産地のコーディネート手法を周知するとともに、取り組み状況を調査</li> <li>○12月にはマーケット・イン型農業の取引のポイントをまとめたマニュアルのダイジェスト版を県ホームページに掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係事業者等が集まる会議等の場を活用してマニュアルを配布、マーケット・イン型農業を普及し、新規契約を拡大</li> <li>○優良事例の情報共有等による新たな取組みの推進(推進会議1回、商談会等での周知、個別ヒアリング)</li> </ul>	農業振興課
新商品の開発や販路拡大などの成果があった畜産物のブランド数(累計)	平成26年度 5件	平成38年度 65件	平成28年度 24件	平成29年度 5件増加	5件 (29件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「かながわ畜産・絆づくり農場見学会」を開催(4回)</li> <li>○「かながわ農林水産商談会2017」等商談会への参加支援を実施(7回)</li> <li>○「かながわ畜産フードコレクション2017」(11月19日)や「かながわミルクフェスティバル2017」(9月9日)の開催</li> <li>○伊勢原産牛乳プロジェクト「絆づくり塾」の実施(9回)</li> <li>○肉用鶏専門委員会による「かながわ鶏」のPR活動や酪農専門委員会による「県産生乳100%認証制度(カナミルクくん)」の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「かながわ畜産フードコレクション2018」の開催等による認知度向上の取組みを実施</li> <li>○各種物産展等への参加支援や農場見学会、絆づくり塾等を実施し、新商品開発や販路を拡大</li> </ul>	畜産課
農業者が生産・販売した加工品の年間総販売金額	平成26年度 20.9億円	平成38年度 23.5億円	平成27年度 20.6億円	平成29年度 21.5億円	平成28年度 27.6億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○7月5日に6次産業化等連絡協議会推進会議等を開催</li> <li>○6月から6次産業化サポートセンターを運営し、農林水産業者等の相談、研修会を実施</li> <li>○個別相談会(月2回)、地域相談会(6回)、人材育成研修会(一般5回、専門5回)、インターンシップ研修会(5回)、実需者と生産者との交流会(1回)を実施、6次産業化総合化事業計画認定(2件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談内容に応じた専門家派遣により課題解決を実施</li> <li>○市町村への出張個別相談を実施し、エリアごとに新規案件を発掘する</li> <li>○総合化事業計画認定支援および認定後のフォローアップ強化により事業計画の着実な推進</li> </ul>	農政課

施策の方向2 安定的な農業生産と次世代への継承

項目	基準値	最終目標値	過年度実績	単年度目標値	昨年度実績値	昨年度に実施した取組	今年度の取組計画	担当課
新規参入者・法人数	新規参入者	平成27年度 38人/年	平成38年度 45人/年	平成28年度 54人/年	平成29年度 37人/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かながわ農業アカデミーの就農支援ワンストップサービスで、318人に対し就農相談、研修先紹介等を実施</li> <li>○企業の相談者数は21社あり、そのうち3法人が新規参入</li> <li>○7月23日の新・農業人フェア等全国規模の就農相談会に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業を対象とした就農参入フェアに参加</li> <li>○引き続き、就農支援ワンストップサービスで就農相談等を実施</li> <li>○農業参入を検討している法人の参入相談(随時)及び制度や手法を紹介するセミナーの開催(1回)</li> </ul>	農業振興課
	新規参入法人	平成27年度 4法人/年	平成38年度 5法人/年	平成28年度 4法人/年	平成29年度 3法人/年			
認定農業者等への農地集積率	平成27年度 18%	平成38年度 29%	平成28年度 18%	平成29年度 19%	19%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6月～8月にかけて農地中間管理事業の対象となる全市町(29市町)を訪問し、事業に係る県単独協力金制度を周知、市町の課題をヒアリングし事業制度に係ることは国に要望</li> <li>○9月～10月にかけて県、農業会議、農地中間管理機構の3者で共通の認識を持って事業を推進するため、活動方針の策定や研修会を実施</li> <li>○県のたより10月号、12月号及び2月号により、事業制度の周知を実施</li> <li>○2月から3月にかけて、地区ごとのブロック会議を開催(4回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農地中間管理機構の体制強化を図り、同機構を活用した農地集積を推進</li> <li>○湘南地域4市、県西地域2市の農業振興地域内にある農地の所有者に対し、今後の農地活用の意向調査や事業制度の周知を、農業委員会と連携して委託により実施</li> <li>○県ホームページのトップページの上部画像に、事業制度を紹介するページへのリンクを設定(4回予定、うち1回は6月に実施済み)</li> <li>○県のたより、新聞、ラジオ等により、事業制度の周知を実施(各4回予定、うち1回は6月に実施済み)</li> <li>○市町担当者等会議の開催(1回)、市町個別説明会の開催(湘南・県西17市町)、地区ごとのブロック会議の開催(12回)、市町等幹部職員向け農地集積推進会議の開催(1回)</li> </ul>	農地課
年間販売額3,000万円以上の耕種経営体数	平成27年 148経営体	平成38年 198経営体	※農林業センサスに基づき算出 次回は平成32年			<ul style="list-style-type: none"> <li>○6月30日から「かながわ農業版MBA研修」(全12日)を開催(受講者22名、19名修了)</li> <li>○修了生は経営強化プランの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かながわ農業版MBA研修の開催(全12回 20名程度)</li> <li>○研修修了生が行う施設整備等への支援(補助 3件程度)</li> </ul>	農業振興課
新規就農者の女性割合	平成27年度 19%	平成38年度 25%	平成28年度 13%※	平成29年度 20%	平成30年8月に確定予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10月7日から「女性農業体験研修」(全3日)を開催(参加者15名)</li> <li>○12月3日に就農意欲を喚起するためのバスツアーを実施し、新規参入者や法人就農の事例を紹介</li> <li>○女性の農業研修生を受け入れる農家に対する支援の実施(1件)</li> <li>○日本大学や東京農業大学で大学生を対象とした就農セミナーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農作業実習や就農事例の紹介等を行う女性農業体験研修の実施</li> <li>○就農意欲を喚起するためのバスツアーを実施し、新規参入者や法人就農の事例を紹介</li> <li>○女性の農業研修生を受け入れる農家に対し支援を実施</li> <li>○大学生等の学生を対象とした就農PRの実施</li> </ul>	農業振興課

施策の方向3 環境と共存する農業

項目	基準値	最終目標値	過年度実績	単年度目標値	昨年度実績値	昨年度に実施した取組	今年度の取組計画	担当課
水路の維持管理など地域ぐるみの共同活動への支援に取り組んだ地区の対象農地面積	平成27年 980ha	平成38年 1,400ha	平成28年 1,060ha	平成29年 220ha増加	190ha (1,250ha)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多面的機能支払事業により、9市2町28地区において、農地や農業用水路等を保全する活動組織に対し支援</li> <li>○中山間地域等農業活性化支援事業により、1市3町9地区において集落を単位とする協定に基づき農業生産活動を行う農業者等に対して支援</li> <li>○5月から2月にかけて、市町村担当者会議の開催（5回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多面的機能支払事業により、10市2町30地区において、農地や農業用水路等を保全する活動組織に対し支援</li> <li>○中山間地域等農業活性化支援事業により、1市3町9地区において集落を単位とする協定に基づき農業生産活動を行う農業者等に対して支援</li> <li>○市町村担当者会議の開催（5回）</li> </ul>	農地課
新たに有機農業に取り組む農業者及び新規エコファーマーの人数	平成27年度 15人／年	平成38年度 15人／年	平成28年度 19人／年	平成29年度 15人／年	29人／年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月、8月、11月及び2月に環境に負荷を与えない生産技術を実践しているエコファーマーの認定審査会を開催（4回）</li> <li>○3月1日に環境保全型農業研修会（1回、参加者111名）、11月30日に有機ほ場見学会（1回、農業技術センターほ場等、参加者15名）を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業技術センターの普及指導員が新規就農者育成セミナーやステップアップセミナーを通じたエコファーマーの啓発を行う</li> <li>○環境保全型農業研修会（1回）、有機ほ場見学会（1回）</li> </ul>	農業振興課

総合的な数値目標

項目	基準値	最終目標値
農産物の販売額	平成27年 455億円	平成38年 455億円
畜産物の販売額	平成27年 191億円	平成38年 191億円
農地面積	平成27年 19,600ha	平成38年 17,900ha

（参考）県民の健康増進に関する指標（第3次神奈川県食育推進計画より）

指標	計画策定時	目標値
一日当たりの平均野菜摂取量	平成25～27年 273.1g	平成34年 350g以上
地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられることに満足している県民の割合	平成25～29年 24.9%	平成34年 28%以上